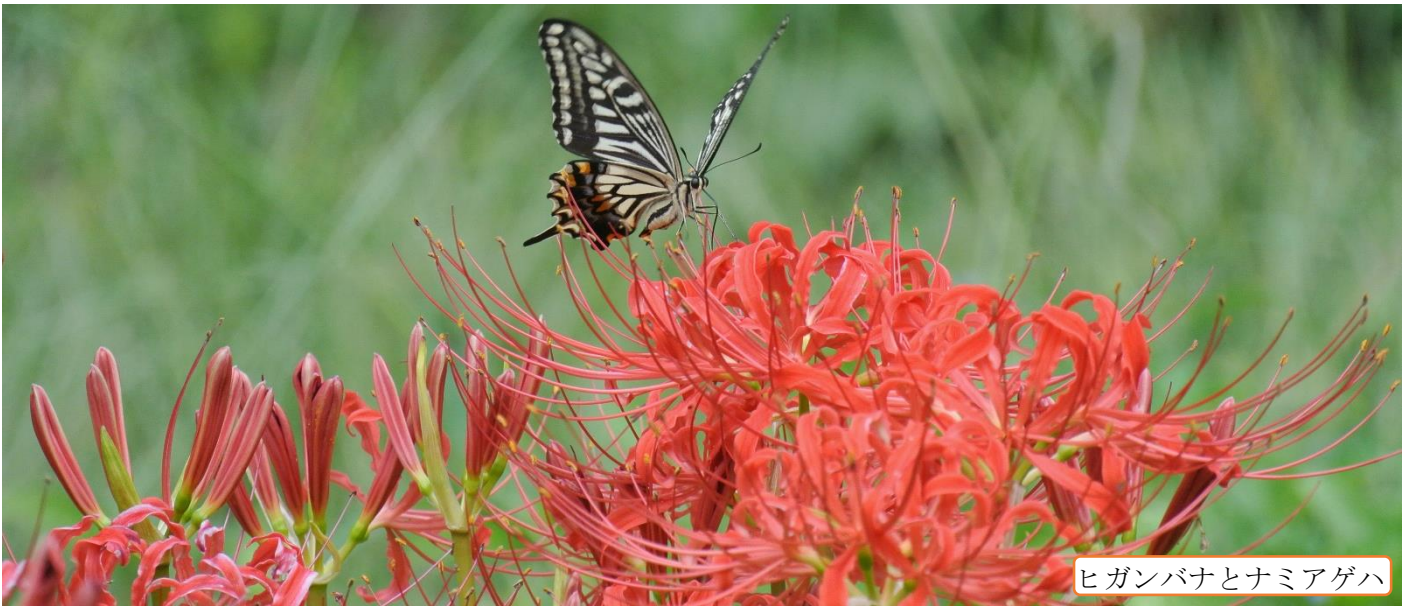




# さとやま

## 今月の見どころ

## 初秋の里山



ヒガンバナとナミアゲハ

最近、残暑が厳しいですが、「暑さ、寒さも彼岸まで」という言葉にもあるように、お彼岸の頃には涼風も感じられます。里ではヒガンバナの花があちこちで見られます。きれいですが毒があるため、昔モグラ除けに植えられたのだそうです。実がならないので、人が植えた場所にしか咲きません。

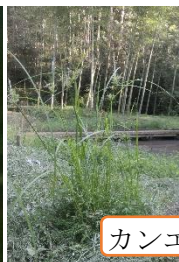
お腹の葉になるゲンノショウコは、ビオトープ上の池のさらに上の水溜り付近などで赤花が、中央広場上の道付近で白花が咲きます。湿った場所では、絶滅が危惧されている、子供の背丈ほどの大きなかやつり草、カンエンガヤツリが見つかります。足元には、キツネの尾のような花穂のキツネノマゴの花がたくさん咲きます。万灯山エリアまでの山道には、キセルの雁首（がんくび）に似たガンクビソウの花が見られます。

また、センター付近では、赤い部分が甘いイヌマキの実、中央広場付近では赤くて小さなウメモドキ、トンボの里では、甘い蜜を滴らせるイヌビワなど、実りの秋も始まっています。

そんな秋の気配を探して、里を散策してみませんか。



ゲンノショウコ



カンエンガヤツリ



キツネノマゴ



ガンクビソウ



イヌマキ



ウメモドキ



イヌビワ

## 里の生き物紹介

# おすきなふくは

秋の代表的な花といえば「秋の七草」を思い浮かべる方も多いと思います。覚え方には色々ありますが、それぞれの名前の頭文字を並べて「お好きな服は？」という言葉を使うと覚えやすいのではないのでしょうか。それぞれの花を里で探してみます。

### オミナエシ



里で初めて出逢ったのは、2014年の「かぎ万燈」が悪天候で中止になった年でした。このときは、左側の写真のように少し大きな花の集まりが見られました。その後2016年までは姿を見ることができましたが、毎年「かぎ

万燈」のための草刈りで刈られてしまい、開花できないまま姿を消してしまいました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で「かぎ万燈」が中止され、小さいですが8月に右側の写真のようにまた現れました。

### ススキ

里のあちこちで目にすることができます。9月はまだ穂が固いですが、10月には白くなり、稲刈り後のすすみとのコラボは、里山らしい風景です。



### キョウ

万灯山山頂付近で、2017年までは毎年7月下旬からかぎ万燈の草刈りまで1株だけですが花が見られました。その後見られなくなり、今年も発見できませんでした。また現れるといいですね。



### ナデシコ



図鑑に載っている種名はカワラナデシコです。実際は6月から8月頃まで咲きます。ナデシコジャパンの大和撫子も、この花を指します。ナデシコとは、「撫でるようにかわいい花」という意味で、河原や荒地にもよく見られるので、名が付いたようです。

里では、藤棚の下でときどき咲くことがありましたが、刈られてしまうことが多く、最近は見かけません。

## ⑦ジバカマ



アサギマダラとフジバカマ

旅をする蝶アサギマダラが好んで訪れる花ということで、藤棚横の柿畑に植えられています。ただ園芸種のフジバカマは、近縁のサワヒヨドリと交配されているサワフジバカマであることが多いようです。

## ⑧スズ

花は8月頃から里のあちこちで見られます。日本では昔から、根のデンプンが「くず粉」として利用されていました。

道端で繁茂したり、樹木に巻き付いて枯らせてしまうなどの厄介な面も持ち合わせています。



## ⑨ハギ



ハギの仲間がたくさんありますが、一般にはヤマハギや写真のような万灯山でよく見られるマルバハギなどを指すことが多いようです。

中秋の名月には、同じ七草のススキとこのハギをお団子と一緒に飾ることが多いです。



ガガイモの花と実

## さとやまニュース

エリア外ですが、昨年冬、小草池の耐震工事のう回路で見つけた不思議な草の実、ガガイモに花が咲きました。全体が毛で覆われた、変わった花です。

種子や葉は生薬として、強壮・止血・解毒などに利用されるそうです。

## 8月の行事紹介



近年、荒天が続き3年ぶりの講座「水辺のいきもの探そう」を神本晃さん講師のもと、8月2日(日)に開催しました。

棚田の小川でタモアミを使って生き物を探そうと川に入ったら、水の冷たいことに驚きました。ヨシノボリやドジョウなど15種の生き物を捕まえ、講師からは優しく扱うよう教わり観察しました。親子ともども自然体験の楽しさを味わえ2時間がとても短く感じました。

## 9月の行事予定

5日(土)	“鳴く虫の不思議”虫笛をつくろう	20名	AM9:30~11:30	磯谷はるみ
-------	------------------	-----	--------------	-------

◎内容 ~身近な材料でセミが鳴く仕組みを使って「虫笛」をつくり楽しみます。

27日(日)	ココロの通う絵手紙つくろう	20名	AM9:30~11:30	市川百合子
--------	---------------	-----	--------------	-------

◎内容 ~里山を散策して好きな花や植物を観察し、感じた気持ちを絵手紙に描きます。

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容を変更する場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆ **コロナ禍の状況により講座を「中止」する場合があります。**

## 10月の行事予定

※10月に開催する予定でした「昔ながらの稲作しよう」Ⅱ・Ⅲは、稲刈り、はざ掛け及び脱穀などは、屋外で作業するものの3密によるコロナ感染を考慮し、「中止」とします

### 西尾いきものふれあいの里

- ◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266
- ◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4]
- ◆発行 西尾市環境部 環境保全課